



奈良本社倉庫

○本社所在地：
奈良県大和郡山市白土町 3 1 1 - 1
○事業概要：
倉庫業・運輸業・3PL請負
○常時使用する従業員：200名
（2025年4月時点）
○現在の売上高：20億円
（2024年5月期）
○法人番号：7150001000804
○Web：https://gojyo-transport.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
原田 勝子

売上増に耐えうる組織構造の変革にチャレンジ

世の中に数多く存在する単純な輸送・保管・荷役・包装・流通加工を行う「物流会社」からコスト削減・効率向上・顧客満足度の向上といった目標達成に向けた戦略的なアプローチを可能としサプライチェーンマネジメントへの参画までも実現する時代をリードするロジ企業へと成長していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2033年の売上高達成に向け、売上構造の改革とM&Aも視野に年率20%程度の成長を目指す。

2025年(24億)/2026年(29億)/2027年(35億)/2028年(42億)/2029年(50億)
2030年(60億)/2031年(72億)/2032年(86億)/2033年(100億達成)

課題

- ・ **売上構造の改革** 現在の「運輸」「倉庫」の2部門から社外倉庫の運営や業務請負、3PL請負や物流コンサル等の収益動線の拡充。
- ・ **組織改革** 売上増に耐えうる「個」のスキルアップ強化、人材育成・採用
- ・ **全国展開** 奈良県外への進出による自社物流の効率化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 県外倉庫の新設確保（現在、奈良県内にて展開）
- ・ 有能人材の育成、雇用
- ・ DX推進による売上増への加速化、効率化
- ・ 他府県企業（営業倉庫保有）のM&A推進

実施体制

- ・ 新規物件の開拓を視野に不動産部署の立ち上げと営業チームの構築
- ・ 定期的な研修、学習会の実施による「個」のスキル向上とルートチームの強化
- ・ 効率的な物流マテハン、システムの導入により省人化と売上を実現
- ・ 日常的なM&A情報収集と金融機関との連携。

売上高100億円実現への構造

事業名	事業概要	今後の事業戦略 （売上・利益の目標等）
倉庫事業 （主要事業）	- 県内を中心に11拠点・約25,000坪の営業倉庫を保有。 - 冷凍・冷蔵・低温・常温と4温度帯の倉庫完備。	- 営業強化により物量増加、預かり品の回転率向上による荷役売上増加を図る - 物流拠点の増強と、他府県展開 2033年の売上高100億のうち70%を倉庫事業で目指す
3PL請負・業務請負 （メーカー物流・他社倉庫）	- メーカー物流の業務請負 - 流通加工等の付帯業務請負 - 他社倉庫のアウトソーシング業務請負 - 物流コンサルティング	2024年からスタートしている業務請負分野の拡充 - 自社倉庫外での売上構築により効率的な売上増を目指す 2033年の売上高100億のうち10%を業務請負・アウトソーシング業務で目指す
運送事業	- 自社輸送手段として計77台保有（大型4トントラック、平車、トレーラー等） - 自社倉庫内貨物の輸送に必要な輸送が主力 - 業務請負にて発生する輸送を請け負い	- 新規荷主様への倉庫営業時に本事業も案内し、一気通貫でのサービス提供を図る。 - 自社の輸送車両は自社倉庫の貨物を輸送するための必要台数にとどめる - 突発的に派生する輸送に関しては協力会社へ依頼し効率化を図る 2033年の売上高100億のうち15%を運送事業で目指す
その他事業	- タイヤ保管・交換事業、太陽光発電事業、飲食事業 - お米の販売事業	- 損益は収支均衡の状況。売上規模も少額で経営への影響は小さく現状維持。 2033年の売上高100億のうち5%をその他事業で目指す
会社全体 （上記合計）	2024年度 売上：1,959百万円 営業利益：230百万円	2033年度の目標 売上：10,000百万円 営業利益：600百万円